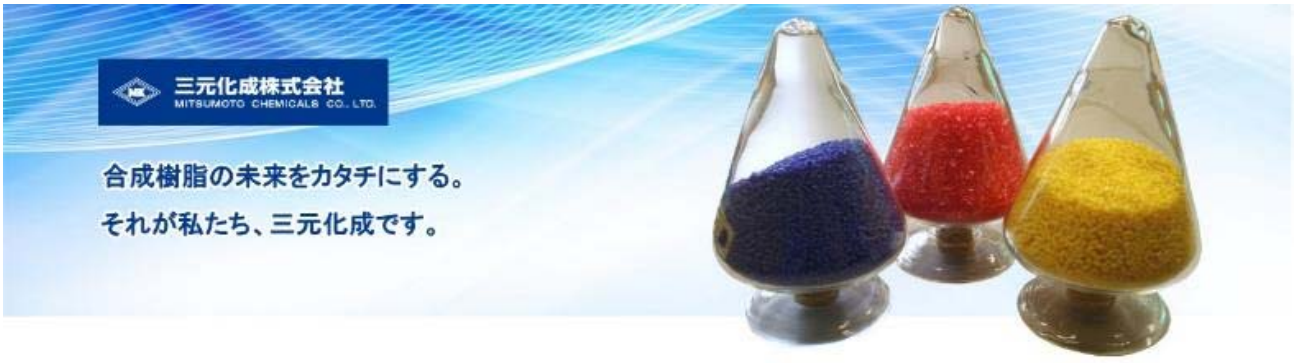
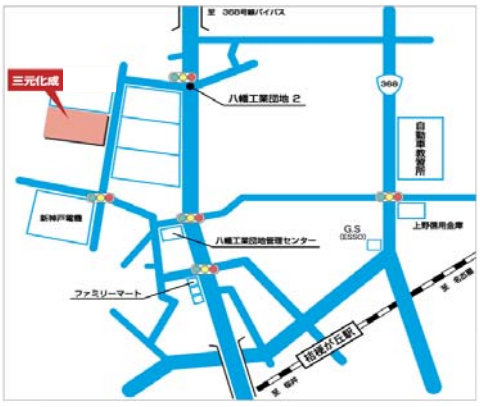


三元化成株式会社

エコアクション21
認証・登録番号 0007714

2023　年度　　環境経営レポート

（対象期間：2023 年4月1日　～　2024 年3月31日）



三元化成株式会社
MITSUMOTO CHEMICALS CO., LTD.

作成日：　2024年4月25日

目　　次

項　　目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	

環境経営方針

＜環境経営理念＞

三元化成株式会社は、合成樹脂の着色コンパウンドを主たる事業としており、製造及び販売にかかわる全ての事業活動（原材料の調達や生産、物流、使用及び廃棄まで）において、地球環境の保全と人の安全に十分配慮した活動を自主的・積極的・継続的に推進します。

＜環境保全への行動指針＞

1. **環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。**
2. **電気・都市ｶﾞｽの使用に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。**
3. **歩留向上による廃棄物の削減とリサイクルを推進します。**
4. **節水行動により水使用量の削減に取り組みます。**
5. **グリーン購入の拡大を推進します。**
6. **化学物質の適切な管理を推進します。**
7. **顧客に対し、適切な環境情報を提供します。**
8. **工場周辺の清掃活動を推進します。**

制定日： 2011年4月1日
改定日： 2019年6月13日

代表取締役社長　　田中　和広

□組織の概要

更新日： 2024年4月15日

（1）名称及び代表者名
三元化成株式会社
代表取締役社長　田中　和広

（2）所在地
三重県名張市八幡1300番40

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	工場長 兼 環境安全部 部長	山川 晃禎	TEL:0595－64－2611
担当者	環境安全部 部員	丸　義彦	TEL:0595－64－2611

（4）事業内容
合成樹脂着色コンパウンドの製造・販売

（5）事業の規模
売上高　7億9844 万円

	2023				合計
従業員　名	70 名				70
延べ床面積　㎡	9,130 ㎡				9,130

（6）事業年度　4 月 1 日 ～ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　三元化成株式会社
対象事業所：　三重県名張市八幡1300番40
活動：　合成樹脂着色コンパウンドの製造・販売

□事業や製品（商品）の紹介

合成樹脂着色ｺﾝﾊﾟｳﾝﾄﾞの製造・販売

設備リスト(2023年4月1日現在)

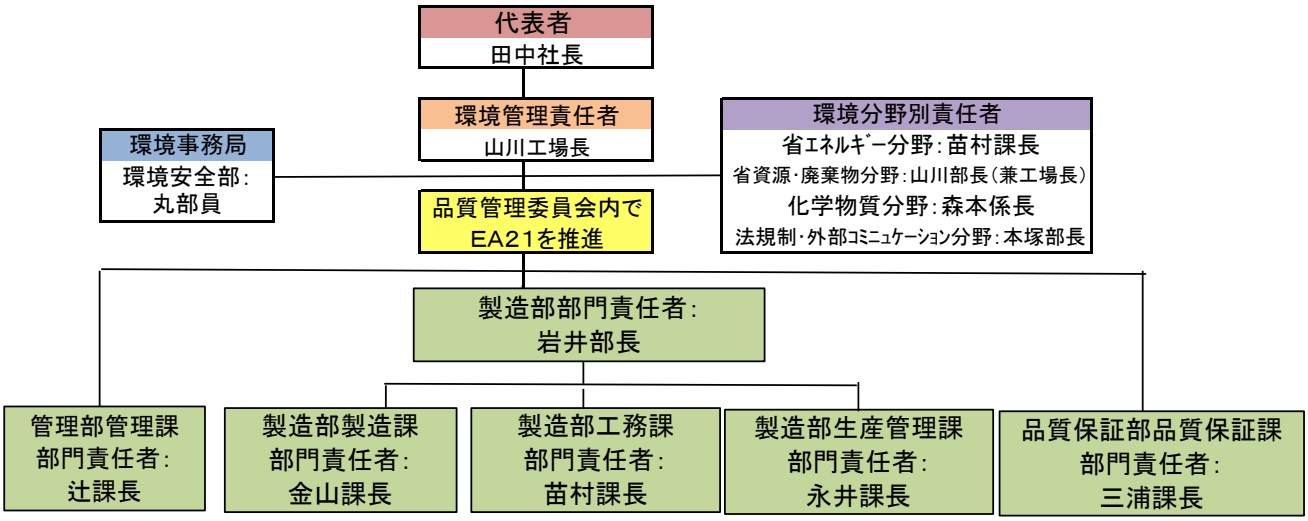
樹脂コンパウンド用押出し機	二軸機：１２台、単軸機：１３台
樹脂乾燥機	除湿機：３台、熱風機：１台
異物選別機	３台（クボタ製　プラトン）
樹脂循環サイロ	１５ｔ循環サイロ１台

資格リスト(2023年4月1日現在)

ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ技能講習	59 名
玉掛け技能講習	10 名
ｸﾚｰﾝ運転(5ﾄﾝ未満)特別教育	7 名
ｶﾞｽ溶接技能講習	12 名
ｱｰｸ溶接等の業務に係る特別教育	3 名
はい作業主任者技能講習	1 名
有機溶剤作業主任者技能講習	4 名
特定化学物質作業主任者技能講習	5 名
第２種電気工事士	1 名
低圧電気取扱業務特別教育	3 名
衛生管理者(1種)	2 名
甲種防火管理者講習	2 名
危険物取扱者　乙４	2 名
危険物取扱者　丙	2 名
ｴﾈﾙｷﾞｰ管理者講習	4 名
電機関連法規特別教育	1 名
安全管理者	2 名
乾燥設備作業主任者	1 名

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2023年4月24日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価　及び　見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境分野別責任者	・各分野における環境活動計画における目標達成手段の作成
	・各分野における環境活動計画の推進と取組
	・各分野における項目の手順書作成及び運用管理
	・各分野の特定された緊急事態への対応のための手順書作成
	・各分野の問題点の発見、是正、予防処置の実施
	・各分野の環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・法規制担当分野は、環境関連法規等取りまとめ表の作成と遵守評価の実施 及び、社員が必要な環境関連法規・知識等の教育を計画し推進する（外部講習含む）
	・外部ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ担当分野は、環境関連の外部コミュニケーションの窓口
品質委員会	・（品質に関する審議をする中で）環境経営計画も審議
	・（品質に関する活動の中に、環境活動に関する内容も入れて）その実績の確認・評価
部門責任者	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	1,830,392	1,857,685	1,810,359
廃棄物排出量	一般+産廃(kg)	206,990	400,133	340,977
一般廃棄物排出量	kg	971	772	750
産業廃棄物排出量	kg	206,019	399,361	340,227
水使用量	m^3	24,927	26,176	17,538

※二酸化炭素排出係数　0.388　kg-CO2/kWh　2021年度中部電力の調整後の係数

□環境経営目標及びその実績

項目＼年度		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	1,815,831	1,797,672	1,772,423	○	1,779,514	1,761,356
	基準年度比	2022年	99%	98%		98%	97%
生産量原単位(電力) 電気使用量/総生産量	kWh/kg	0.6237	0.6175	0.6158	○	0.6316	0.6284
	基準年度比	2022年	99%	99%		98%	97%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	41,854	41,435	37,740	○	41,017	40,598
	基準年度比	2022年	99%	90%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	301	298	196	○	295	292
	基準年度比	2022年	99%	65%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	1,857,986	1,839,406	1,810,359		1,820,826	1,802,246
一般廃棄物の削減	kg	772	764	750	○	757	749
	基準年度比	2022年	99%	97%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	399,361	395,367	340,227	○	391,374	387,380
	基準年度比	2022年	99%	85%		98%	97%
生産量原単位(産廃) 産廃廃棄物量/総生産量	kg/kg	0.053	0.052	0.0459	○	0.052	0.051
	基準年度比	2022年	99%	87%		98%	97%
リサイクル比率の向上	%	100	100%維持	99.7	×	100%維持	100%維持
				0.9973			
	基準年度比	2022年	100	100%		100%	100%
水道水の削減	m^3	26,176	25,914	17,538	○	25,652	25,391
	基準年度比	2022年	99%	67%		98%	97%
生産量原単位(産廃) 水道水使用量/総生産量	ml/kg	0.003	0.00297	0.0024	○	0.00294	0.00291
	基準年度比	2022年	99%	79%		98%	97%
グリーン購入の推進	%	ー	29%	35%	○	30%	31%

環境に配慮した生産活動	ロス率の低減、 顧客クレーム削減、 廃棄率の低減、 埋立量の削減	評価 ○
化学物質の適切な管理	PRTR届出(電子届出)、 グループ会社への化学物資低減リスク削減計画と実施報告及び 特化物の使用量報告	評価 ○

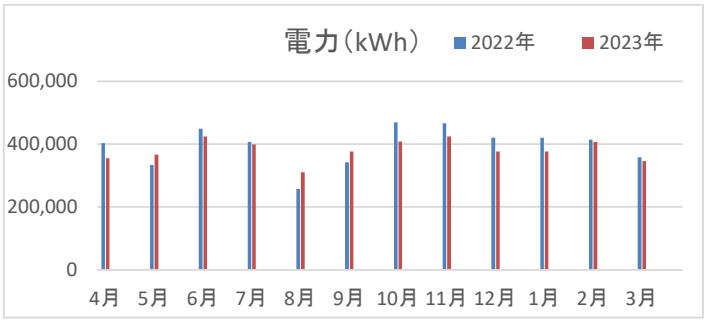
※自動車燃料による二酸化炭素削減は、極端に影響度が低いので目標から外し、数字管理のみ行うこととした。
※ﾘｻｲｸﾙ比率が100%で無いのは、無機顔料（埋立処分しか出来ず）の長期滞留分（使用量のみ購入は不可）の廃棄を実施したことによる。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:〇達成　×未達成

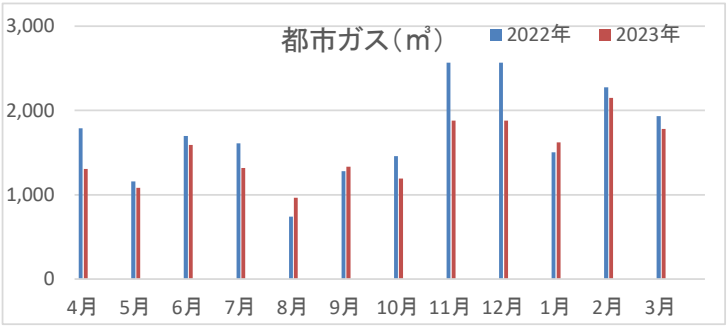
活動:◎よくできた　〇まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	〇	照明のLED化も終了した。また、LED化に伴い系列ごとに照明スイッチを設置により、停止機台周りの消灯が可能となった。また、効率生産により電力原単位は目標達成できた。
・休憩時間中の節電	〇	
・銘切・分解時間の短縮と削減	〇	
・インバーター化	△	
・LED化	〇	



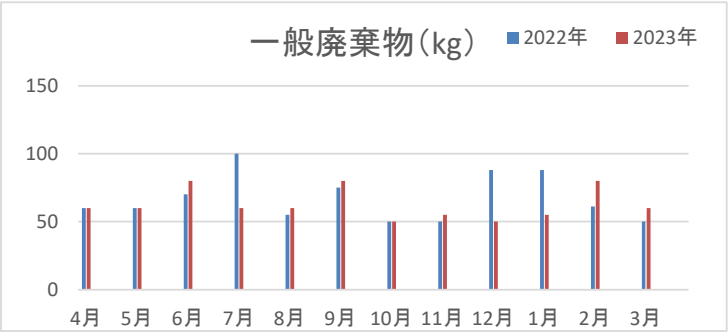
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	402,374	333,343	448,214	407,050	257,244	342,194	469,114	465,943	419,813	419,813	414,166	357,701
2023年	355,505	366,262	424,121	398,400	310,486	376,277	407,947	424,046	376,178	376,238	407,162	345,478

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	〇	生産量的には、基準年とほぼ同程度であったが、頻繁にスクリューを交換する銘柄が減ったため、目標達成となった。また、燃焼炉を更新したことも都市ガス低減になっている。
・給湯器更新	×	
・オーブン加熱時間設定の最適化	〇	



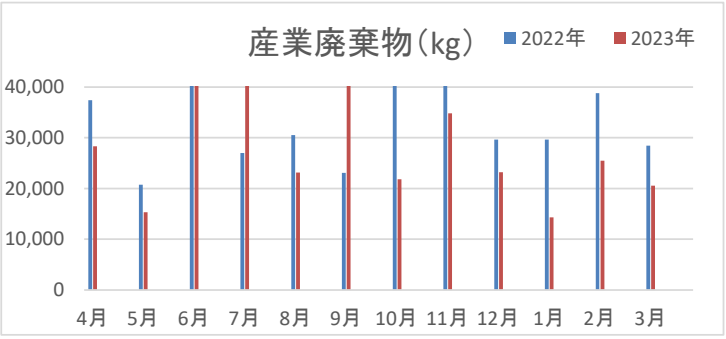
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	1,791	1,159	1,699	1,612	742	1,280	1,458	2,567	2,567	1,505	2,274	1,933
2023年	1,308	1,082	1,590	1,319	967	1,335	1,192	1,880	1,880	1,624	2,150	1,781

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	単月ベースでは未達が多いが、累計では何とか目標達成できた。来期には良い手立てを立案したい。
・一般ごみの分別徹底	○	
・裏紙の使用	○	



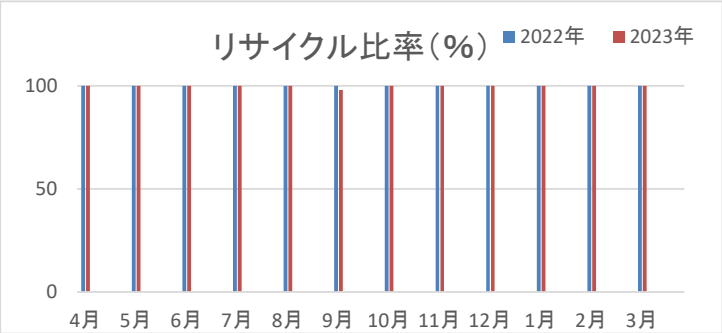
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	60	60	70	100	55	75	50	50	88	88	61	50
2023年	60	60	80	60	60	80	50	55	50	55	80	60

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	品質トラブルの低減、作業ミスの低減によりロス率が目標達成となった事とリサイクル率の向上により、産廃削減となった。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・切り替えダンゴの発生削減	○	
・収率改善（ロス削減）	○	



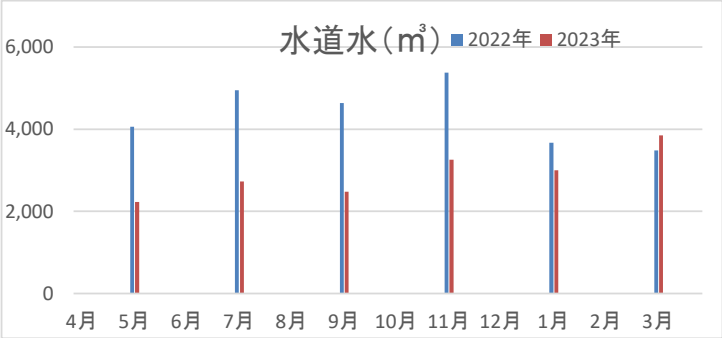
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	37,413	20,773	44,690	27,009	30,550	23,070	40,230	52,653	29,612	29,612	38,791	28,463
2023年	28,343	15,294	43,933	41,338	23,149	48,113	21,789	34,807	23,184	14,285	25,461	20,531

リサイクル比率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	無機の顔料は、焼却処理もできず埋立しかない。出来れば、使用量のみ購入できれば良いが、それもできないため、埋立は今後も発生する。プラスチック埋立ゼロの継続を目指す。
・リサイクル品に合わした素材別ボックスの変更	○	
・リサイクル業者の開拓	○	



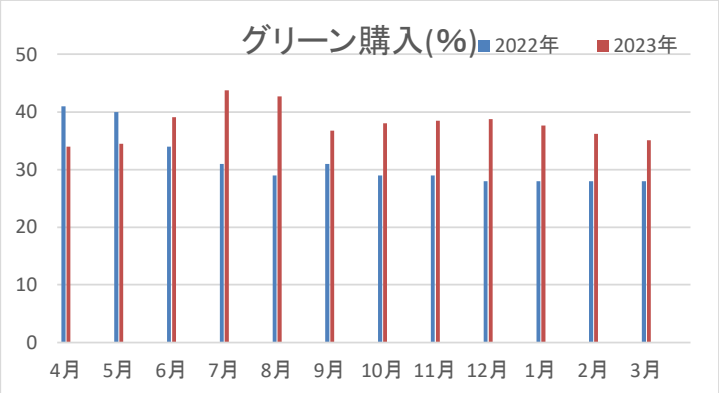
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
2023年	100	100	100	100	100	98	100	100	100	100	100	100

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	電材用途のPEL生産量が大幅に減少した事と、暖冬により凍結防止で使用する水道水の垂れ流しが無くなり、大幅に原単位は改善された。
・現場の水漏れ早期発見と対応	×	
・市水の適切な使用	×	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	0	4,057	0	4,951	0	4,638	0	5,373	0	3,673	0	3,484
2023年		2,229		2,725		2,478		3,255		2,998		3,853

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	グリーン購入製品は決まっており、その他の製品の購入量が増加すれば、相対的に購入比率低下となってしまう。今年度は、順調に推移となった。
・グリーン購入品の推進	○	
・紙類をグリーン購入品にしていく。	×	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	41	40	34	31	29	31	29	29	28	28	28	28
2023年	34	34	39	44	43	37	38	38	39	38	36	35

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ロス率低減　　目標；東洋紡MC　2.3%以下　MEP-G　　2.0%以下　※MEP-Gは、MEP(PC)とG-PAC(PA、POM)	○	ロス率、クレーム数、埋立量の目標は達成できた。TBM時の作業ポイント確認、過去のトラブル対策確認により目標達成となった。
・顧客クレーム削減	○	
・廃プラの埋め立て量削減	○	

化学物質の適切な管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ＰＲＴＲ物質使用量の把握	○	主要顧客の化学物質リスクアセスメント(コントロールバンディング)は実施した。有害化学物質の保管場所を設置し、毎月の棚卸で在庫管理を行っている。ロス低減への取り組みは継続して実施することで、化学物質排出量を減らすように努めている。
･有害化学物質の保管･管理計画	○	
･ﾛｽ低減による環境への化学物質排出低減	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物(紙ｸｽﾞ、繊維ｸｽﾞなど)、産業廃棄物（金属類、廃ﾌﾟﾗ類、廃ｶﾞﾗｽ、廃油、蛍光灯、水銀灯）	○
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準	○
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限	○
騒音規制法	空圧機、空調機、射出成型機	○
振動規制法	空圧機、空調機、射出成型機	○
浄化槽法	浄化槽	○
水質汚濁法	PH,BOD,COD,SS,N-Hex,ﾌｪﾉｰﾙ,NH4-N,大腸菌群数	○
大気汚染防止法	ばいじん、窒素酸化物、ﾄﾙｴﾝ、ｽﾁﾚﾝ、ﾍﾞﾝｾﾞﾝ、酢酸ｴﾁﾙ	○
悪臭防止法	ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾌﾀﾙ酸ﾋﾞｽ(2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ)	○
フロン排出抑制法	業務用空調機、業務用空調機(GHP)、エアドライヤー	○
PRTR法	第一種指定化学物質(16物質)	○
労働安全衛生法	ｱｾﾄﾝ、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｸﾛﾛﾎﾙﾑ、ﾒﾀﾉｰﾙ、THF、ﾆｯｹﾙ、ｺﾊﾞﾙﾄ、ｱﾝﾁﾓﾝ	○
消防法（危険物）	機械油、Mｸﾘｰﾅｰ、指定可燃物(POM,PEL,PC,PP)	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

・特になし。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定:　地震による火災の発生

■実施日：　2023/4/28 &　2023/11/17・24

■実施場所　三元化成株式会社

■参加者：　全社員

■実施内容：　☑通報訓練　☑消火訓練　☑避難訓練

■評価：

手順書の変更の必要性　□　あり　☑ なし

・昨年度から、夜勤者による夜間時の訓練を実施した。夜勤時には課長以上の管理職が不在となるので、訓練は重要、且つ、有効だった。その効果が昼勤時訓練でも操法等に出ていた。本年度も、昼勤時訓練を基にして行っていく。
・事前準備も出来ており、通報・避難等、身をも守る行動がスムーズに出来た。
・消化訓練では、各隊での訓練状況に差があった。隊での各人の役割を明確にしての訓練が必要と感じた。

■実施状況の様子

□代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者:田中和宏　　実施日: 2024年4月18日

（2023年度の総括）

・外部講習会及び社内講習会は、計画通り実施できた。

・目標の進捗については、QMSの目標として取り上げており、実質的には品質管理委員会で行った。

・緊急事態対応の訓練として、例年通り総合防災訓練、夜間防災訓練は2回行った。その総括として、良かった点が6件、反省点が5件であった。反省点については、次年度の訓練に反映させる。

・目標は原単位に変更し事により、生産量の変動要因が除外された。2023年度は、一部の目標（グリーン購入等）を除き、
目標達成となった。効率生産、ロス低減が良い結果につながっている。

（次年度への課題）
・リサイクル業者の新規を開拓し、環境コスト低減を行っていく。

・外部講習会については、将来を踏まえて進めていく。

・緊急事態対応としての、防災訓練は、本年度の従業員の意見を踏まえて春の連休前に実施する。

・目標の進捗等については、AP、QMSの目標として取り上げているので会議の効率化により品質委員会で行っていく。

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	□ 変更あり
実施体制	☑ 変更なし	□ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

☆ 地域への貢献のため、管理組合主催の清掃活動に参加している。(2023.6.6)
☆ 毎水曜日実施の社内清掃時間に、敷地周辺道路のごみ拾いを実施している。